

2008年10月1日
改訂日 2008年11月5日
改訂日 2009年4月1日

「JCTX認定CO2削減アドバイザー」資格認定制度創設のお知らせ

株式会社日本環境取引機構（英文略称JCTX）

株式会社日本環境取引機構（英文略称JCTX）は、企業や自治体などにおける低炭素型経営を実現するための専門コンサルタントである「JCTX認定CO2削減アドバイザー」専門資格制度を創設しました。

1. 「JCTX認定CO2削減アドバイザー」資格認定制度創設のねらい

京都議定書の第1約束期間が始まりました。2008年10月からは、国の「国内排出量取引の試行的実施」も開始されようとしています。「炭素に価格がつく時代」になるといわれ、CO2排出削減が企業経営の重要な課題になってきています。

これまで日本企業は、省エネには熱心に取り組んできましたが、低炭素社会に向けた「カーボンマネジメント戦略」に関しては、どの企業もほとんど未知の領域といっても過言ではないでしょう。今後は、欧米諸国のように、カーボンマネジメント戦略の良否が、投資家および消費者の選好尺度になることが考えられます。ビジネスと環境の両立を提言・実行できる人材が、特に中小企業で強く求められています。

JCTXは、2004年から、省エネ技術の伝承と国内クレジット取引を組み合わせた「環境取引®」というビジネスモデルを提唱し、試行してきました。この環境取引の地域活動拠点として、全国主要都市に「地域環境取引所」を開設しています。

JCTXは、このような活動実績を踏まえ、企業のカーボンマネジメント戦略を支援することができる専門人材の養成が時代の急務ととらえて、わが国初の専門資格認定制度を創設することといたしました。※「環境取引」は、JCTXの登録商標です。

2. 「JCTX認定CO2削減アドバイザー」の主な業務

本制度では、従来の省エネルギー支援サービスとは一線を画し、経営の視点から最適なCO2削減のための戦略立案と具体的対策を支援することができる専門人材の育成を目指しています。

CO2削減アドバイザーは、企業活動に伴うCO2排出実態や傾向を、企業の業種・業態にあわせ分析し、経営計画の中にカーボンマネジメントをどのように組み込むか、CO2削減に必要な体制の整備、事業所や設備のエネルギー効率改善の提案といった課題解決に企業とともに取り組みます。

JCTX認定CO2削減アドバイザーの主な業務は次のとおりです。

- ① カーボンマネジメントシステムの構築に関する指導・助言
- ② 施設の用途・規模・劣化状況・省エネレベルなどに応じた明確な削減目標の設定助言
- ③ 現状のCO2排出量、省エネ度の調査、評価
- ④ CO2削減に関する指導・助言
- ⑤ 国内・国外のカーボンクレジットの活用戦略助言

3. CO2削減アドバイザーの受け入れが想定される組織

- ① 改正省エネ法でエネルギー消費量が原油換算1500キロリットル以上となる特定事業者および特定連鎖化事業者
- ② 省エネ活動がこれからの課題であり、かつ国内クレジット取引に関心を持つ中堅・中小企業
- ③ 省エネ先進企業であって、国内・国外のカーボンクレジット取引に関心を持つ大手企業
- ④ 地域版排出量取引などに関心を持つ地方自治体

4. JCTX認定CO2削減アドバイザーの受講資格

JCTX認定CO2削減アドバイザーとは、JCTXが実施する認定講習を修了し、資格認定試験に合格し、JCTXの個人エキスパート会員（JCTX法人正会員企業に所属し、企業からの派遣で受講し資格取得した方は個人エキスパート会員の登録は不要）に登録した方に付与される民間資格です。認定講習を受講するためには、少なくとも次の1つ以上の専門資格を有することが必要です。受講申請時に資格証明書と実務経歴証明書（原則として経験5年以上）を提出していただきます。

●技術系の資格

- ー 一級建築士
- ー 建築設備士
- ー 技術士（分野不問）
- ー 電気主任技術者
- ー 環境計量士（濃度及び騒音・振動の資格をともに有すること）
- ー エネルギー管理士
- ー その他の環境関連資格（JCTX省エネ評価支援センターによる受講資格審査が必要）

●マネジメント系の資格

- ー 税理士
- ー 中小企業診断士
- ー 環境または品質マネジメントシステム主任審査員
- ー 環境カウンセラー（事業者部門）
- ー 環境プランナーERO（環境プランニング学会認定）
- ー 国内版EMS（エコステージ、EA21、KES等）の審査員・評価員
- ー 企業内で環境に関する業務に従事した経歴が直近で概ね5年以上あること
- ー 経営層（社長または取締役）として企業経営の経験と実績が直近で概ね5年以上あること
- ー その他の環境関連資格（JCTX省エネ評価支援センターによる受講資格審査が必要）

5. 認定資格の更新

- ① 認定資格の有効期限は、登録日から3年間です。
- ② 更新するには、資格再認定講習（有償）を受けることが必要です。
- ③ 専門能力維持と最新情報学習のため、当社が定期的を開催するフォローアップ研修（受講費用は年会費に含む）を継続的に受講することも義務付けます。
- ④ 毎年1回、業務実施結果報告書を提出していただきます。

6. 資格認定の流れ

- ① 受講資格審査
- ② 資格認定講習

第1期（2008年度）は、東京・名古屋・大阪で実施しました。2009年は、東京・名古屋・大阪に加えて、各地域で順次開催します。

A) 講習会の内容(予定)：各分野の専門家が担当します。

- ー JCTX認定CO2削減アドバイザーの役割と責任、職業倫理
- ー 京都メカニズムの理解と国内排出量取引制度の概要
- ー 省エネ法・温対法のポイントと算定報告
- ー 環境省版CO2排出量算定報告ガイドライン解説
- ー 模擬企業の算定報告書作成と省エネ診断・改善意見書作成演習
- ー 模擬企業のCO2排出削減戦略立案と実行計画書作成演習
- ー 国内クレジット制度の利用方法
- ー CO2排出削減プロジェクト組成と有効性審査の方法解説

- モニタリングデータの検証方法解説
- 企業のカーボンマネジメント戦略と会計・税務対策解説

B) 講習日数：3日間の集中講義受講を原則としますが、仕事の都合などで3日間の連続参加が困難な場合は、技術系・マネジメント系資格者に共通の履修科目を1日コースで受講、残るカリキュラムを他日程または他会場で分散受講することも認めます。

C) 資格認定試験は、当年度内に、全課程を履修した段階で受験すればよいものとします。

- ③ JCTX個人エキスパート会員登録（JCTX法人会員所属の場合は不要）
- ④ 資格認定証明書及び携帯用認定カードの交付
- ⑤ フォローアップ研修（通学コースまたは通信教育コースから選択可）

7. 受講費用

- ① 受講費用（資格認定試験費用を含む）は、189,000円(税込)です。
- ② JCTXの個人エキスパート会員（入会金3万円、年会費3万円）に登録していないかたは、資格認定を受けたあと、個人エキスパート会員に登録いただきます。JCTX法人正会員企業から派遣され資格認定を受けた場合は、別途に個人エキスパート会員登録する必要はありません。

8. 企業との契約

- A) JCTX省エネ評価支援センターが企業と契約し、登録アドバイザーを企業に派遣します。法人正会員企業に所属するアドバイザーの場合は、JCTXとその正会員企業との法人契約に基づいて業務受託いただくことになります。
- B) アドバイザーは、原則として毎月1回、企業を訪問し、下記のような業務を行ないます。
 - カーボンマネジメント戦略の立案助言とCO2削減目標の設定支援
 - エネルギー使用量、CO2排出量モニタリングの助言
 - モニタリング算定報告書の作成支援
 - CO2削減活動と目標管理の助言
 - カーボンマネジメント分野の文書化支援（社内規定、マニュアルなど）
 - 国内クレジット取引活用の助言

9. CO2削減アドバイザー資格制度の運営体制

